



風っ子・環境キャンペーン

桐生市

春の昆虫から 楽しく学ぶ自然

ぐんま昆虫の森



「たくさん昆虫を見つけられて、昆虫のひみつが分かって楽しかった」と笑顔を見せる参加者たち

ぐんま昆虫の森（新里町鶴ヶ谷）は、昆虫をテーマにした全国的にも珍しい施設。東

て、そこに生息する昆虫を手

京ドーム10個分ほどの広い里山の中に雑木林や小川や田んぼなどの里山がつくられている。同園で毎月1〜2回開いている自然観察会は、すぐに予約でいっぱいになってしまうほど人気の高いプログラム。平成最後の日曜日となった4月28日に、同じく平成最後の自然観察会が開かれました。テーマは「新緑の雑木林の昆虫」。実際に園内を歩いて出会う、春先の昆虫を観察します。雑木林、草地、水辺など、どんな場所にもどんな昆虫がいるのでしょうか。

この日は県内外から、親子連れや家族連れなど30人が参加。首から虫眼鏡をかけ、手に虫網を持ち、早速探検開始です。昆虫博士の茶珍さん（あまの）が、昆虫が隠れているところには、木の幹から生えてくる「ひこばえ」と呼ばれる場所や、虫食いの跡がある葉っぱなどのサインがあることを教えてくれました。「いたよー！春の森に元気のよい声が響きます。みんなが見つけた昆虫を、茶珍さんが分かりやすく解説してくれます。」



昆虫を見たり、触ったりしながら、解説を聞けるのがおもしろい

小川ではホタルのエサとなるカワニナを発見。水の中で生まれたホタルの幼虫は、陸へ上がって幼虫となり、さなぎから成虫へと変身します。ホタルを通じて川と陸のつながりも学びました。

国谷倅之輔さん（館林・第六小2年）は「ナナフシが見られてうれしかった。昆虫が見られる環境を大切にしたいです」と話していました。

風っ子・環境キャンペーンを応援します

ぐんま昆虫の森

〒370-0460 桐生市新里町鶴ヶ谷460-1
TEL: 0277-74-6441
<http://www.giw.pref.gunma.jp/>

自然観察会のほか、昆虫クラフトやふれあいコーナーなどのプログラムはホームページで案内中。（イベントへの参加は無料〜数百円。別途入園料がかかります）



昆虫や植物を
教えてもらいながら
歩くのって楽しいね！

群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」
許諾第30-111002号

身近にできるエコ活動

生物多様性の保全は急いで取り組む必要

水、空気、土などのまわりの環境とそこにすむ生物とを一つのまとまりと見たとき、これを生態系といいます。私たちは、生態系から食料や薬品の原料、景観などのさまざまな恩恵を受けています。いろいろな種や生態系の多様さを生物多様性といいます。おもに人間活動が原因となって、かつてない速度で、しかも地球規模で生物多様性が失われつつあります。このまま損なわれていけば、人類の生存をおびやかすことになりかねないのです。

群馬県環境アドバイザー 中島啓治